



ネプコン ジャパン2019

1月16日～18日の3日間、東京ビッグサイトにおいて「第48回インターネプコン ジャパン」が開催され、本県企業6社が出展しました。

今回で48回目を迎える本展示会は、超微細、高精度加工に関する専門展示会の集合体として毎年、東京・名古屋で開催され、国内外から10万人を超える幅広い層の来場者が最新の情報を求めて来場する国内最大の展示会で、今年は2,528社が出展し、3日間の来場者数は116,244人に上りました。

当センターの出展は今年で3回目となります。今回の展示会は、ネプコン初出展の企業が6社中5社と新たな顔ぶれのもと、岩手ものづくりパビリオンが一丸となったPRを行うことができました。

また、今年は各企業に対し事前に訪問を行い、展示品の選定やリーフレット調製を行い展示したことにより、各企業の特徴が出て訴求力も増した展示となったほか、具

体的な「図面相談」や「試作依頼」が寄せられるなど、有望案件数も57件(前年26件)と昨年から倍増し、手応えのある展示会となりました。



●お問い合わせ ものづくり振興部 研究開発チーム

TEL: 019-631-3825

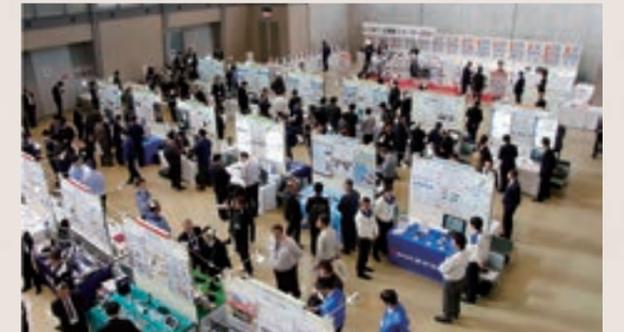


「とうほく・北海道 自動車関連技術 展示商談会」について



トヨタ自動車株式会社様をはじめ、東海地区の自動車関連企業様に対して、東北・北海道の企業等が持つ「新技術・新工法」や「コスト低減、品質・生産性向上(QCD)」に関する技術を提案し、具体的取引や協力関係の構築を目的に、2月7日～8日の2日間、刈谷市産業振興センター「あいおいホール」にて開催しました。

出展者数は全体で80企業・団体で、うち岩手県から



は、13企業・団体が参加し、今年で2年目を迎える8道県連携企画「とうほく・北海道ショーケースカー」には95社262部品が搭載され、うち岩手県からは23社70部品を搭載し、岩手の技術力のPRを図りました。

来場者数は2日間で916名、商談は323件となり、大盛況のもと閉会することができました。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822



第23回「機械要素技術展」出展のご報告



2月6日～8日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において、「第23回機械要素技術展」が開催され、当県企業13社が出展しました。



今回で23回目を迎える本展示会は、製造業に関わるあらゆる要素技術、部品・部材を一堂に集めた国内最大級の集客力を誇る展示会で、今年は1,302社、3日間の来場者数は、66,049人に上りました。

当センターは、2006年から出展しており、県内企業の皆様に支えられながら今年で14回連続の出展になります。今回の出展は、有望案件数158件、今の製造業市場の旺盛な発注意欲をそのまま反映する盛況ぶりとなりました。

次回開催は、東京五輪の関係で2020年2月に幕張メッセ(千葉県)での開催となります。既に、岩手県共同出展ブース(小間)の予約を完了しており、準備を進めてまいります。なお、出展企業募集は7月頃を予定しております。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822



IoT&デジタルヘルスケア セミナーを開催



2月15日、滝沢市IPU第2イノベーションセンターにおいて、いわて医療機器事業化研究会、いわて組込技術研究会を、滝沢市の主催で開催いたしました。

第一部ではIoTに潜むリスクの認識やMicrosoft Azure 等を活用したIoT開発事例などIoTをテーマとした講演を、第二部では認証プログラム医療機器や産学

連携により生まれたリアルタイム咬合力センサの開発事例など、デジタルヘルスケアをテーマとした講演をいただきました。

開催アンケートの集計では、「Microsoft Azureのデモが楽しかった。IoTが持つハードルを下げていると感じた」「医療系のIoTの必要性とビジネス化の難しさがよく分かった」等の感想が寄せられており、今回のテーマにおける参加者の興味関心の高さが窺えました。

今後におきましても、県内ものづくり企業等の生産性向上に繋がるIoT等先端技術に関する研究会を実施するほか、地域企業の取引拡大を促進するための支援を継続して行ってまいります。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822